

産業成長戦略の第上半期の進捗状況等

分野：林業分野

戦略の柱： 担い手の育成・確保

取組方針：林業大学校の充実・強化

【概要・目的】

平成30年4月に本格開校した林業大学校において、林業現場で即戦力となる人材の育成（基礎課程）及び次世代の林業・木材産業界を牽引していく高度で専門的な人材の育成（専攻課程）する。また、既に林業や建築設計業務を実践している方などのスキルアップ（短期課程）を図るとともに、都市部での実務者講座の開催など木材需要をけん引する木造設計士を短期間に養成する仕組みづくりに取り組む。

令和2年度当初計画（P）

1. 林業大学校の充実・強化

(1) リカレント教育の更なる充実強化

（質の高い教育の提供）

- ・短期課程（リカレントコース）での高度で専門的な講義の実施（通年）
- ・市町村林業職員向け研修の実施（5月～）

（開かれた学校づくりの推進）

- ・年間を通じた広報活動の充実強化（通年）
- ・運営委員会及び地域懇談会の開催
- ・経済同友会等との連携した講座の開催（2月）
- ・地元大学等との共通講座の検討（5月～）

(2) 新たな木造設計士育成の仕組みづくり

（質の高い教育の提供）

- ・都市部等における実務者講座の開催（東京・大阪：9月～）
 - ・首都圏における木造設計集中講座の開催（東京：10月～）
 - ・短期課程（リカレントコース）での高度で専門的な講義の実施（通年）
- 【再掲】
- ・限校長による特別講座及び建築学生向けのサマー・オータムスクールの開催（8月～11月）
 - ・専攻課程（木造設計コース）での高度で専門的な人材の養成（通年）

(3) 研修生確保対策の強化

（優秀な人材の確保）

- ・移住対策等と連携した入校生の確保
- ・年間を通じた広報活動の充実強化（通年）【再掲】
- ・都市部等における認知度の向上、公開講座等の開催（東京・大阪：9月～）
- ・学校等訪問による林業大学校PR（6月～）

（質の高い教育の提供）

- ・即戦力となる人材の育成（基礎課程・通年）
- ・中核を担う人材の育成（専攻課程・通年）

（県内事業体への就業促進・定着率の向上）

- ・インターンシップ等による細やかな就業支援（7月～2月）
- ・林業労働力確保支援センターと連携したきめ細かな就業支援（雇用計画情報収集、事業体とのマッチング・通年）
- ・林業事務所等と連携した修了生のフォローアップの強化（通年）
- ・卒業生の組織化及び人的ネットワークの構築

計画を進めるに当たってのポイント

1. 林業大学校の充実・強化

- ・社会人の学び直しプログラムの提供
- ・短期に木造設計士を養成する仕組みづくりの構築
- ・都市部等における認知度の向上、公開講座等の開催
- ・入校生の確保に向けた関係機関との連携強化
- ・県内事業体等への確実な就業支援
- ・林業事務所と連携した修了生のフォローアップ体制の強化
- ・林業大学校の発信力の強化（広報活動の強化、公開講座の充実）
- ・運営委員会及び地域懇談会の開催
- ・卒業生の組織化及び人的ネットワークの構築

令和2年度上半期の取り組み状況（D）

1. 林業大学校の充実・強化

(1) リカレント教育の更なる充実強化

（質の高い教育の提供）

- ・新型コロナウイルスの影響により、短期課程では、リカレントコースの受け入れ中止（16講座）、及び小規模林業向けコースなど4講座中止、1講座延期、10講座縮小
- ・短期課程研修の実施（上半期受講：40講座、621人（見込）（対前年度比 34%減、（H31：53講座、940人））

（開かれた学校づくりの推進）

- ・募集要項、学校案内、ポスター等の作成・発送（6月～）
- ・新聞広告（6/28）、テレビCM、ラジオ、web広告（6～7月、8～9月（予定））、駅貼り広告（9～10月（予定））
- ・運営委員会の開催（8/28）

(2) 新たな木造設計士育成の仕組みづくり

（質の高い教育の提供）

- ・実務者講座（東京・大阪）及び限校長による特別講義について関係者調整（6月～）
- ・実務者講座（オンライン）の開催（9/4、9/18（予定））
- ・新型コロナウイルスの影響によりサマースクール（8/18～8/20）中止
- ・オータムスクールの開催（9/10～9/12（予定））
- ・新型コロナウイルスの影響によりオンライン等による自宅学習（4/21～5/13）

(3) 研修生確保対策の強化

（優秀な人材の確保）

- ・こうちフォレストスクールへの参加（高知8/30、オンライン9/6、9/12、9/13、9/26（予定））
- ・森林の仕事ガイダンスへの参加（名古屋9/27（予定））
- ・募集要項、学校案内、ポスター等の作成・発送（6月～）【再掲】
- ・新聞広告（6/28）、テレビCM、ラジオ、web広告（6～7月、8～9月（予定））、駅貼り広告（9～10月（予定））【再掲】
- ・学校進路ガイダンスへの参加（高知北高5/17、20、伊野商6/13）
- ・県内高校個別訪問（安芸桜ヶ丘他39校6/2～7/27）
- ・オープンキャンパスの開催（7/18・19、参加者77人（申込者50人、同伴者27人）（対前年度比7%増、参加者72人（申込者41人、同伴者31人））

（県内事業体への就業促進・定着率の向上）

- ・第1回インターンシップの開催（8/24～9/4）、インターンシップ先の情報提供（8月）
- ・就業ガイダンス開催（7/11、参加事業体[林業]35社、[建築設計]7社）
- ・令和元年度卒業生の就労状況聞き取り（5/8）
- ・卒業生との意見交換（6/15）
- ・卒業生就業先訪問（6/16、6/22、7/31）
- ・卒業生・同窓会名簿の作成・発送（8月）

【新型コロナウイルス感染症による影響】

- ・短期課程（リカレントコース）の受け入れ中止（16講座）（再掲）
- ・短期課程の小規模林業向けコースなど4講座中止、1講座延期、10講座縮小（再掲）
- ・基礎課程及び専攻課程におけるオンライン等による自宅学習（4/21～5/13）（再掲）
- ・建築学生向け集中講座サマースクール（8/18～8/20）中止、実務者講座をオンライン開催に変更（9/4、9/18（予定））、限校長による特別講義（東京）をオンライン開催に変更（10/23（予定））、特別講義（高知）を建築を学ぶ学生限定に変更（11/3（予定））（再掲）
- ・大阪市立大学建築学科の林業体験中止（9/15～9/17）
- ・高知農業高校進路ガイダンスの中止

課題・改善策と今後の取り組み（C、A）

見えてきた課題

1. 林業大学校の充実・強化

(1) リカレント教育の更なる充実強化

（質の高い教育の提供）

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への対応（3密の回避・定員・オンライン講義の検討）

（開かれた学校づくりの推進）

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への対応（運営委員会のオンライン会議による対応）

(2) 新たな木造設計士育成の仕組みづくり

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への対応（都市部での開催方法・時期・定員）

(3) 研修生確保対策の強化

（優秀な人材の確保）

- ・専攻課程木造設計コースの研修生確保

（質の高い教育の提供）

- ・新型コロナウイルスの影響による講義の再調整

（県内事業体への就業促進・定着率の向上）

- ・修了生フォローアップ体制の確立

今後の主な取り組み（改善策を含む）

1. 林業大学校の充実・強化

(1) リカレント教育の更なる充実強化

（質の高い教育の提供）

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への対応（3密の回避・定員・オンライン講義の検討）

（開かれた学校づくりの推進）

- ・市町村林業職員向け研修の実施（計12回程度）

（質の高い教育の提供）

- ・HP、SNS、新聞、業界誌等を活用した広報活動の充実強化
- ・地域懇談会の開催（2月）
- ・経済同友会等との連携した講座の開催（2月）
- ・地元大学等との共通講座の開催（未定）

(2) 新たな木造設計士育成の仕組みづくり

（質の高い教育の提供）

- ・都市部等における実務者講座の開催（10/9、10/30/オンライン）
- ・首都圏における木造設計集中講座の開催（東京：10/2、11/6、12/11、2/5）
- ・短期課程（リカレントコース）の充実強化（10月～）
- ・限校長による特別講座の開催（オンライン10/23）
- ・限校長によるワークショップ、建築を学ぶ学生限定（新阪急高知・11/3）

(3) 研修生確保対策の強化

（優秀な人材の確保）

- ・森の仕事ガイダンスへの参加（11/3）
- ・短期課程（木造建築コース）の開催（10月～）

（質の高い教育の提供）

- ・即戦力となる人材の育成（基礎課程・通年）
- ・中核を担う人材の育成（専攻課程・通年）

（県内事業体への就業促進・定着率の向上）

- ・インターンシップの開催（第2回：10月、第3回11月、第4回1、2月）
- ・修了生フォローアップの実施（随時）
- ・同窓会会報の編集・発行（12月）、卒業生専用HPの開設（未定）

【令和2年度末の目標】

林業大学校修了生の県内就職者数：R2（H27～R2 累計）111人：R2の県内就職者数27人

【直近の成果】

林業大学校修了生の県内就職者数（H27～R1 累計）84人：R1の県内就職者数：14人（R1修了生（基礎課程20人は専攻課程へ進学））